

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年2月13日）

1 主な報告等

(1) 令和7年度警察費当初予算（案）等について

委員から、令和7年度の警察費当初予算案や令和6年度の補正予算案の概要について説明を受けて分かった。県ともしっかりと調整の上、限られた警察予算を最大限活用し、各種警察事業を適切に推進していただきたい旨の発言があった。

(2) 令和6年度沖縄県警察逮捕術及び拳銃射撃競技大会の結果について

委員から、大きな声援の中、迫力ある逮捕術競技や緊張感のある拳銃射撃競技は、大変見応えがあった。県民等が目にする機会の少ない逮捕術や拳銃射撃における力強く勇壮な警察官の姿を広く広報して、今後の人材確保にもつなげていただきたい旨の発言があった。

(3) 令和6年中の少年非行概況及び推進中の各種対策について

委員から、当県の少年非行の特徴として、学職別での中学生による非行の割合が高いことや犯罪少年の再犯率・共犯率が高いということが説明を受けてよく分かった。少年非行の根本的な対策は、家庭対策が重要であることから、自治体、学校等の関係機関・団体と連携して、少年の生活環境改善等に取り組む必要がある。また、少年非行情勢を分析し、「選択と集中」による少年非行防止対策を今後も継続していただきたい旨の発言があった。

(4) 総合的な水難事故防止対策の取組について

委員から、県警察が、レジャー施設や体験スポットの検索・予約サイト運営会社と「水難事故の未然防止及び相互連携に関する協定」を締結したことを高く評価する。この協定締結により、安全対策優良海域レジャー提供業者の周知拡大や事業者及び観光客等の利用者に対する安全対策意識の向上につながる。また、水難事故防止対策の実効性を期すため、早期に「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全確保等に関する条例」が改正・施行され、水難事故が減少することを期待する旨の発言があった。

(5) 令和6年中における刑法犯認知検挙件数（確定値）について

委員から、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺等の被害増加が顕著であり、県警察の様々な部門が連携協力して対策を講じる必要がある。県民等が、特殊詐欺等の手口や被害の特徴について、具体的なイメージが共有できるような分かりやすい情報発信、被害拡大防止の方法について検討していただきたい旨の発言があった。

(6) 第49回沖縄県警察白バイ安全運転競技大会の実施結果について

委員から、今回の沖縄県警察白バイ安全運転競技大会や1月の年頭視閲式で披露された白バイ隊員の高度な運転技術は、地道な訓練とたゆまぬ努力の賜である。白

バイ隊員は、交通指導取締りのみならず、要人警護等において活躍しているところ、常に危険と隣合わせの業務であることから、今後も日々の訓練を継続しながら頑張っていたきたい旨の発言があった。

(7) その他

警察本部から、令和6年中の刑法犯認知件数は、令和5年中と比較して詐欺等の知能犯が大きく増加している。その中でも特殊詐欺被害額が約2億円、SNS型投資・ロマンス詐欺被害額が約14億円、合わせて約16億円に上るなど、相当な被害となっていることから、匿名・流動型犯罪グループ等による犯行を食い止め、県民等の貴重な財産を守るため、県警察の総力を挙げて特殊詐欺等事件の被疑者検挙と犯罪（被害）抑止にしっかりと取り組んでまいりたい。2月12日（水）、県議会2月定例会が開会し、来週から代表質問・一般質問が始まる。県警察の各種警察活動に対し、県民の理解と協力が得られるよう、しっかりと説明してまいりたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会関係報告
- ・ 人事関係報告
- ・ 裁決書の裁決について
- ・ 審査請求の受付について
- ・ 監察関係報告
- ・ 訟務関係報告

(2) 交通部

- ・ 交通情報の提供に関する事務の委託契約に係る認定について
- ・ 自動車運転免許の行政処分について